

命を守る政権に交代を 7・18かんまき街角トーク集会



大変なリスクを国民に押し付けた

とうとう首都圏に緊急事態宣言が発令され(7/12)、菅政権は「緊急事態下での五輪開催」という大変なリスクを国民に押し付けることになりました。専門家集団の「普通は開催はない。(あり得ない)」という危惧どおり、東京での感染者数は連日1000名を超え爆発の勢いです。菅政権は、国民の命を賭けて「金メダルラッシュの余韻で総選挙勝利を」というギャンブルに打って出ました。

今からでも五輪中止の決断を

「無観客」だからと言って安心はできません。海外からの「関係者」への甘い特例等見ても感染が

大拡大する危険が大です。今からでも中止の決断を求めます。

<p>どこまでも スポンサーファースト この政権 民を見下し見捨て見殺す</p>	<p>危険を冒してまで開く理由は何？</p> <p>強行する本音 □にはできません</p>	<p>緊急事態宣言が出ても 安心安全の五輪をやる</p>
--	---	----------------------------------

「命優先」の政権に交代を

国民の命よりも大企業などスポンサーの利権を優先させてきた安倍・菅の現政権の政治を変えるチャンスが秋に行われる総選挙です。コロナに打ち勝て

る強固な医療体制確立、困っている人たちへの十分な補償などが必要です。コロナで大儲けした企業の優遇税制を改めれば可能です。

「日本人のリスクはない」は真っ赤なウソ

都民の5割が五輪「中止」



「読売」調査(9～11日に実施)から作成

IOCのバッハ会長は来日するや「日本人たちへのリスクはゼロ」と宣言。その理由の一つとして選手・関係者の外部との接触を遮断する「バブル方式」をあげました。

しかし、まだ開会していないのに次々と「バブル崩壊」が明るみに出ています。

流しタクシーが紙切れ一枚で五輪専用ハイヤーに変身

「入国後14日間は公共交通機関を使用

できない」はずなのに、流していたタクシーが市中で五輪関係者を拾って乗せ、その際、1枚の紙を掲示するだけ。そして降ろすや、この紙を外し再び流し業務に。これは大手のタクシー会社の内部通達「ハイヤーへンシン」に従った業務です。

運転手の労働組合が見直しを求める

また、専用車不足として、東京都は一般タクシーの「借り上げ」に応じてくれる業者を募集しました。タクシー運転手さんにはワクチン接種を終えていない方が多く、さすがに運転手の労働組合が見直しを求めています。

ボランティアの安全対策は見切り発車に

「選手全員のワクチンは用意した」というIOCのバッハ会長。それなら、大会ボランティアの分はなぜ用意しないのか。政府のワクチン供給も遅れ、接種が不十分なまま大会を迎えるボラ

ンティアさんも多数です。

バッハ会長のホテル代は

一泊300万円

「ぼったくり男爵」バッハ会長ら来日した大会幹部のホテル代1泊300万円。そのうちIOC負担はたった4万数千円。残額はわが国の負担となります。さらに、関係者の移動は「新幹線一両貸し切り」「航空機はチャーター」などと決められました。

この大金こそコロナで苦しむ業者などへの支援に回すべきです。

バッハ会長が厚かましくも要望する「有観客」はとんでもありません。

この紙1枚でハイヤーに

